

小鹿野町役場庁舎建設基本構想策定 町民ワークショップ報告書



令和元年10月

目 次

1 ワークショップの概要

- (1) 趣旨・目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2 活動報告

- (1) 第1回ワークショップ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 第2回ワークショップ・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (3) 全体まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- (4) テーマ別意見のまとめ・・・・・・・・・・・・ 18

3 資料

- 参加者名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

1 ワークショップの概要

(1) 趣旨・目的

小鹿野町役場庁舎建設基本構想策定にあたり、町民が主体的に役場庁舎建設に関するテーマに基づき意見交換をすることにより、住民の求める考えを抽出し、役場庁舎建設基本構想を作成するための知見を得るために開催したものです。

(2) 概要

日 時 場 所	第1回 令和元年 7 月 20 日(土)午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分 小鹿野庁舎第 1 会議室 第2回 令和元年 8 月 3 日(土)午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分 小鹿野庁舎第 1 会議室
参加者	公募町民(4人)、区長協議会(1人)、西秩父商工会(1人)、農業委員会(1人)、老人クラブ連合会(1人)、民生委員・児童委員協議会(1人)、サン・レディスおがの(1人)、中学校 PTA(3人)、小学校 PTA(2人)、幼稚園 PTA(1人)、保育所 PTA(1人)、育児サークル(2人)、小鹿野高校生(3人)、地域おこし協力隊(2人) 計24人
内 容	メインテーマ 利用しやすく小鹿野町らしい庁舎 個別テーマ 1 役場庁舎に求める機能及びサービスやあったらいいと思うもの 2 公共施設の中心である役場に複合化・集約化すべきもの 3 小鹿野町らしい庁舎とは何か 《参加者設定テーマ》 4 交流機能と議場の使い方 5 新庁舎の持続可能性の向上について メインテーマ「利用しやすく小鹿野町らしい庁舎とは」何かについて、町で設定した個別テーマ(1～3)や意見交換の中で参加者が設定したテーマ(4、5)に沿ってワークショップを行いました。

2 活動報告

(1) 第1回ワークショップ

開催日時 令和元年7月20日(土)午後1時30分～午後4時30分

参加人数 23人

主な内容 町長あいさつ後、ワークショップの趣旨、全体内容説明、事例紹介（高知県梶原町役場庁舎、埼玉県宮代町役場庁舎、岩手県住田町役場庁舎）、現小鹿野町役場庁舎の耐震性等について、説明を行いました。また、小鹿野庁舎の現況を知るため、参加者全員で小鹿野庁舎の内外部の見学を行いました。その後、会場に戻り、各グループで自己紹介をした後、「テーマ1:役場庁舎に求める機能及びサービスやあったらいいと思うもの」「テーマ2:公共施設の中心である役場に複合化・集約化すべきもの」について、グループディスカッションを行いました。

事例紹介



ファシリテーターのものづくり大学大島名誉教授が高知県梶原町役場庁舎、埼玉県宮代町役場庁舎、岩手県住田町役場庁舎の事例紹介を行いました。

小鹿野庁舎内外部の見学



ファシリテーターや町職員の説明を聞きながら、参加者全員で小鹿野庁舎の議場や執務室、外観などを見学しました。

テーマ1: 役場庁舎に求める機能及びサービスやあったらいいと思うもの
〈グループディスカッション〉



役場庁舎に求める機能及びサービスやあったらいいと思うものについて、意見を出し合いました。

その後、各自の意見を付せんに書き出し、模造紙に張り付けていき、付せんのグルーピングなど、相互関係を見ながら整理しました。



〈Aグループ 発表のまとめ〉



総括すると、町民の誇りになるような庁舎であって欲しいです。
「ギャラリー」「受付コンシェルジュ」「銀行ATM」「交流スペース」「窓口業務は、一部に集約」「子供が使える」「働きやすい役場」「気持ち良さがある場所」「議場として使っていない時に別のことに使う」「用がなくても来なくなる」などのご意見がありました。
庁舎建設の際に配慮して欲しいこととしては、「維持費」「電気代がかからない」「町の木材を利用」「シンプルな外観」などでした。
その他として、「そもそも庁舎に行く機会が少ない」とのご意見もありました。

〈Bグループ 発表まとめ〉



どうして現在の庁舎になっているのか、両神庁舎の歴史から議論をしました。

「複合案内ができるコンシェルジュ」「出張の窓口」「子供関係の申請など1回で済むような担当課」「行政内連携システム作り(例:会議はテレビ会議など)」「相談室」「気軽に相談できる場所」「プライバシーに配慮した相談スペース」「居心地の良い、閉鎖感のない気軽に行けるスペース」「議場を1階に配置し、議会使用以外にコワーキングスペース」「ペレットボイラーによる冷暖房(林業を支えて環境資源を生かす)」「必要最低限のオフィス機能」「キッズスペース」「子供が入れるトイレ」「和式のトイレ」「いろいろな年代の人が集まれるスペース」などのご意見がありました。

〈Cグループ 発表まとめ〉



保育面で、「子どもが遊べる広い場所」「子供に安全な場所」「授乳室」「キッズスペース」「広い図書館」などのご意見がありました。

ハード面では、「みんなで話しができる場所」「カフェ」「居酒屋」「足湯」「人が集まれる場所」「直売所」「総合案内所」「木の温もりやユニバーサルデザイン」「多目的ホール」「観光PRができるセンター」などでした。

ソフト面では、「両神にある課も一括」「出張サービス」などでした。

〈まとめ ファシリテーター〉

「交流スペースの充実」「議場の活用」「木材の活用」という意見が多くあり、すべてのグループにおいて考慮する必要があるとのご意見でした。そのほか、町民の利用しやすさという視点で、ワンストップサービスやキッズコーナーの充実ということ等も共通の意見になっていました。

テーマ2: 公共施設を中心である役場に複合化・集約化すべきもの

〈グループディスカッション〉

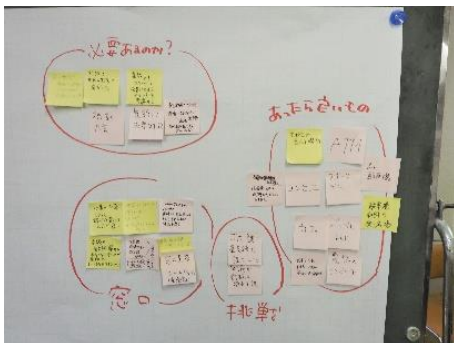


公共施設を中心である役場に複合化・集約化すべきものについて、意見を出し合いました。

その後、各自の意見を付せんに書き出し、模造紙に張り付けていき、付せんのグルーピングなど、相互関係を見ながら整理しました。



〈Aグループ 発表まとめ〉



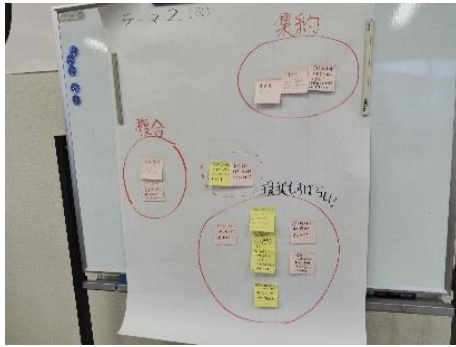
窓口は1つにまとめた方がわかり易く利用しやすいです。

テーマの複合化と集約化について、そもそも必要かと。施設を集約化及び分散化するメリットを考慮し、「役所が出向く移動庁舎」「近い施設の移動に徒歩、レンタルサイクル」などのご意見がありました。

あったら良いものとしては、「高校生が寄れる場所」「ATM」「スポーツジム」「コンビニ」「カフェ」「ドトール」「広い駐車場」「駐車場利用の祭り広場」「農協のコンビニ化」などでした。

新しい挑戦として、「JK課(若者の最先端の意見を取り入れている。最先端の課の一つ)」「町民が行政に係わる課」などでした。

〈Bグループ 発表まとめ〉

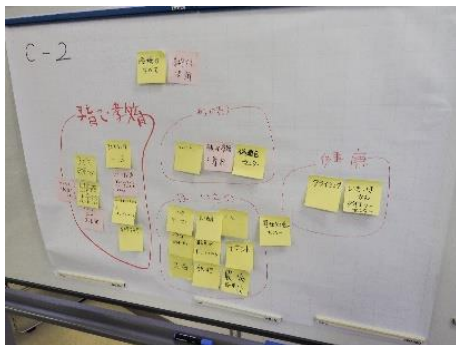


集約について、「学校教育課」「建設課」が両神にあります。子供の転入、転出の際、学校教育課があればいろんな問題が調整できるのでは。

複合について、「娯楽施設」「JAと組んで農産物の直売」などのご意見がありました。

一方で、「病院、保健課、福祉課」が現状一カ所にまとまっており、現在の「両神庁舎で住民票発行」は残してもよく、集約しなくても素晴らしいところもあります。機能を考慮した上で、まとめずに現在の場所で良い状況もあるとのご意見もありました。

〈Cグループ 発表まとめ〉



総括として、役場にすべてのものがあれば良く、集約を決断することも必要です。集約として、「子供関連を一括」とのご意見があり、子供の支援センターや図書館、児童館などは、常にかいている状態が良いと思いました。

複合としては、「健康」「いきいき館」「ダイエットセンター」「クライミング」などでした。

町の売りとしては、「観光情報の集約」「総合センター」などでした。

欲しいものとしては、「カラオケ」「ゲームセンター」「カフェ」「テナント」「足湯」「銀行」「農協」「男女の出会いの場所」「出会いセンター」などがありました。

〈まとめ ファシリテーター〉

小鹿野町のように、緑豊かで面積の広い自治体機能の集約化と分散化は、難しいテーマです。「分散化している既存の課のよさも考慮しながら、ワンストップサービスに繋がる使いやすい庁舎」「町民の集まりやすい庁舎や小鹿野町をアピールする庁舎」ということがテーマになっていたと思います。このことは、小鹿野町のまちづくりの核を作ってほしいということに繋がると思います。

レンタサイクルや移動庁舎という提案も町域の広い自治体にとってユニークなご意見です。

〈第1回のまとめ ファシリテーター〉

議場の活用、交流スペース、木材の活用、窓口業務の在り方、既存集落との関係性、特に小鹿野町の現在の中心環境と両神などとのネットワークをどうするかなどがテーマになりました。少子高齢化の中で子育て支援をどうするか、子育てをしている母親が利用しやすい庁舎ということも大事なテーマです。大変有意義な御意見がたくさん出て良かったと思います。

本日のワークショップから追加テーマが発見されると思います。

(2) 第2回ワークショップ

開催日時 令和元年8月3日(土)午後1時30分～午後4時30分

参加人数 19人

主な内容 第2回ワークショップでは、あらかじめ設定してあった「テーマ3 小鹿野町らしい庁舎とは何か」のほか、参加者から意見を聞いて設定した「テーマ4: 交流機能と議場の使い方について」「テーマ5: 新庁舎の持続可能性の向上について」について、グループディスカッションを行い、その後、ファシリテーターが全体を通してまとめを行いました。

テーマ3: 小鹿野町らしい庁舎とは何か

〈グループディスカッション〉

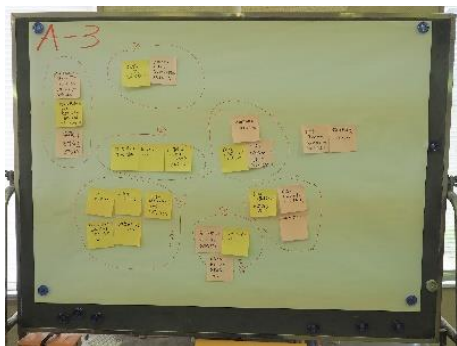


小鹿野町らしい庁舎とは何かについて、意見を出し合いました。

その後、各自の意見を付せんに書き出し、模造紙に張り付けていき、付せんのグルーピングなど、相互関係を見ながら整理しました。



〈Aグループ 発表まとめ〉



小鹿野町の良さは、「人の温かさ」と「人間味溢れる」であり、それらを最大限生かし、高校生の発言を認められるような、人と人との繋がり、団体を超えた人との繋が

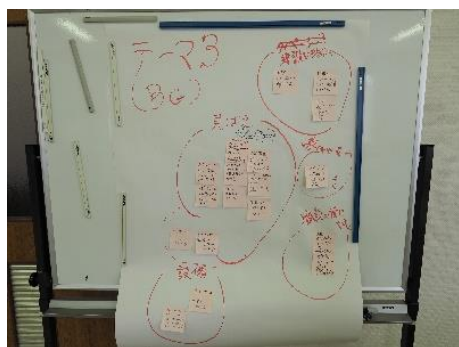
りが溢れるような「交流スペースの充実」が庁舎に求められるのではとのご意見がありました。また、庁舎には、「町の誇れる自然」「花の良さが分かる写真」を町の誇りを感じられるようディスプレイやデザインするご意見もありました。

庁舎全体のイメージは「古き良き宿場町」です。

小鹿野町らしい観光について、観光は両神の方に集中しており、両神庁舎に観光担当課を残し、バスルートも考えていく必要があるのでは。

新しい視点として、庁舎の中に「新しい小鹿野町らしさ」を追求したらどうでしょうか。「ランニングコストが少ない」「身の丈にあった」などの意見がありました。

〈Bグループ 発表まとめ〉

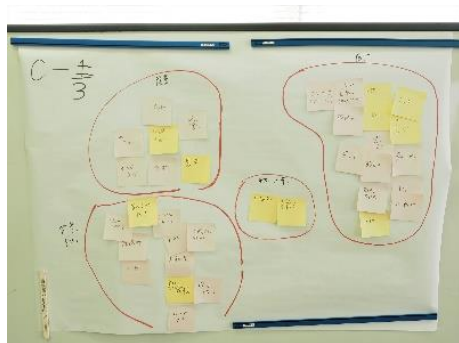


小鹿野町らしさとして「歌舞伎」「ダリア園」「ようばけ」「自然エネルギーを活かす」などで、庁舎に取り入れるご意見としては、「外壁にダリアの飾りつけ」「四季折々の花の植樹」「竹あかりを入り口や建物内に飾る」「歌舞伎カラー」「毘沙門水飲める」「町の山の木、川の水を販売」「人口、町の雰囲気合った外観」などがありました。

庁舎建設に関するご意見としては、「建設に関わる業者がオール小鹿野」「耐震化リノベーションされた現庁舎の古さを活かす」「税金に見合うコスパに優れた庁舎」などでした。

職員でワークショップを行い小鹿野のアイディアを出し、働きやすい職場作りが一番良いのでは。

〈Cグループ 発表まとめ〉



小鹿野の特徴として、「野生動物を退治して食べる」「養蚕農家が多数存在」「お祭り」「太鼓団体」「歌舞伎」「小鹿野高校の竹あかり」などのご意見がありました。

庁舎建設に関しては、「技術を持っている大工が作る」「蚕を飼う庁舎」「議場に2階席を作り歌舞伎の特徴を取り込む」「まちづくりに参加している小鹿野高校の発

信」などでした。

高校生、子育て世代などの未来ある町民のため、町の未来を育てる役場の組織を作っていただきたい。未来にかけたいです。

〈まとめ ファシリテーター〉

「温かさ、人の温かさ。具体論としては交流スペースにつなげたい」「観光課は両神庁舎に残すべき」「花を意識したプロデュース、デザインして欲しい」「地元の大工が作る。オール小鹿野で作る」「庁舎は職員も使うのだから職員の意見も尊重」「蚕、自然、歌舞伎など小鹿野の伝統的な文化を生かす、アピールする」「歌舞伎議場というユニークな提案」「未来の子供たちの意見を尊重する町づくりが大切」などの意見がありました。

建築としての対応では、交流スペースや展示空間に繋がります。また地元木材を使い地元の大工さんで作れたら、小鹿野らしい庁舎につながると思います。

テーマ4: 交流機能と議場の使い方について

〈グループディスカッション〉



交流機能と議場の使い方について、意見を出し合いました。

その後、各自の意見を付せんに書き出し、模造紙に張り付けていき、付せんのグルーピングなど、相互関係を見ながら整理しました。



〈Aグループ 発表まとめ〉



議場の大きなスペースは年間1か月程度しか使われていないため、もったいないです。

庁舎内に設置する議場については、フレキシブルな使い方がよく、「映画」「ライブ」「発表会」「小鹿野高校吹奏楽部演奏」「多目的なオープンスペース」「ピアノ発表会」などのご意見がありました。

一方で、議場を庁舎内に設置しない意見として、「議会を文化センターで」「別のスペースで代用」などがありました。

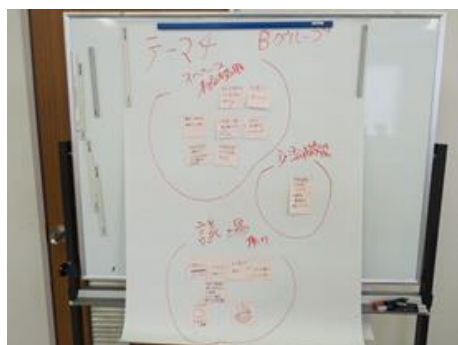
議会の視聴については、「傍聴席を増やす」「ネット配信」「カフェで大型スクリーン視聴」などでした。

交流スペースは絶対に必要と思われ、「カフェ(ケーキ必要)」「交流のきっかけづくりになるスペース」「ギャラリー(用事がなくても行きたくなる庁舎を目指す)」「キッチ

ン」などのご意見がありました。

当班は、初めて会う方や異世代の方とフラットな立場で意見を出し合うワークショップに目覚めました。ワークショップ等により町民同士が話す楽しさを見いだせ、交流することの大事さがわかると施設利用のソフト面を考えていけます。

〈Bグループ 発表まとめ〉



議場と有効スペースの活用について話し合いました。

議場の使い方として、議会だけではなく他にも使用できるよう「フラット」「バリアフリー」「広い入口」「車椅子でも傍聴」「一階にガラス張りで設置」「外からも見えるように明るいスペース」「椅子、テーブル収納」「円形テーブル」「顔を合わせ話し合えるスペース」「図書館(両神に自力でいけない子供たちのため)」「自由に使える勉強スペース・パソコン」「ウォーターサーバー」「親子で見られる映画上映」「世代交流の場所」「未来戦略、子供会議(子供を主とした会議を年2回ぐらい開いてもよいのでは)」などのご意見がありました。一番押したいことは「図書館スペース」です。

交流機能としては、「外部住民との交流スペース」「特産物」「農産物の販売」「マルシェ」などでした。

〈Cグループ 発表まとめ〉



議場は年に4週程度しか使用していないため、議場は設置せず文化センターで行えばよく、ソフト面の対応として、「土日の夜開催」「ネット配信」「議員の町民交流(月に1、2回議員が議場にいる)」などのご意見がありました。

交流面では「カメラを併設」「居酒屋」「図書館機能」「夜にいつでも使える庁舎の会議室」「出会いのない方が出会える場所」などでした。また、ソフト面対策として、ある月の第一週は竹あかり、翌週は料理教室などで若者の出会いの場をつくる必要があるのでは。

議場としての使い勝手が悪くなりますが、「常時使える歌舞伎小屋として作る」とのご意見もありました。

〈まとめ ファシリテーター〉

「議場を有効活用して積極的に町民活用をしたい、兼用を進めて欲しい」という意見が多数ありました。交流スペースや展示スペース及びイベントスペース等として活用したいというご意見でした。また、町民参加がしやすい議場、オープンな議場にして欲しいというご意見も多かったと思います。歌舞伎議場というユニークな提案もありました。庁舎のコンパクト化を考える中で、議場の有効活用は、大切なテーマです。

テーマ5:新庁舎の持続可能性の向上について

〈グループディスカッション〉



新庁舎の持続可能性の向上について、意見を出し合いました。

その後、各自の意見を付せんに書き出し、模造紙に張り付けていき、付せんのグルーピングなど、相互関係を見ながら整理しました。



〈Aグループ 発表まとめ〉

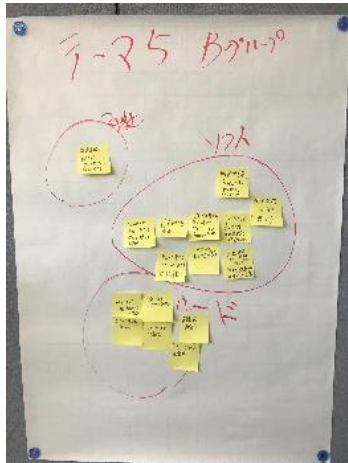


ハード面では「ランニングコストを抑える」ことが共通の意見で、「町の木材使用で費用を抑える」「太陽光発電」とのご意見がありました。災害時にも役立つ「太陽光発電」は是非設置して欲しいとのことでした。

ソフト面について次のとおり考えます。小鹿野町はずっと残って欲しいため、新しくできる庁舎を愛していくことが必要と思います。そこで、「年に一度は庁舎に行こう」を目標とし、「庁舎を利用する町民の割合を 100%」「年に一度は庁舎に行けるような仕組み、きっかけづくり」「人集め」「ワークショップの仕掛け」「参加の方法」などを役場の人に任せずに考えていく「核になって声をあげる人」を育てたらどうでしょうか。

町民がいつでもずっと笑顔でいられるよう町民の意見を取り入れてもらえる仕組み作り、あるいは、若者たちが自分の意見が形になり大人になったときに「私の意見でカフェができた」と子供に自慢できるような繋がりが「持続可能」とのご意見もありました。みんなで意見、知恵を出し合うことの重要性を感じました。

〈Bグループ 発表まとめ〉



一番大事なことは「自由自在でフレキシブルな庁舎」とのご意見がありました。

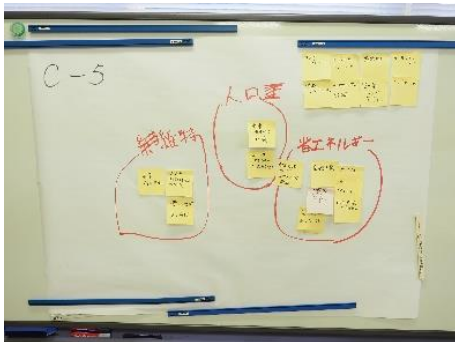
フレキシブルについて、「50年後庁舎不要」とのご意見があった一方で「自由に入りでき使える場所」「色んな話ができる仕組みのある庁舎」「意見交換の場が増える庁舎」などのご意見がありました。

ソフト面としては、「倉尾から両神、町民誰でも知恵が出し合える場所のある庁舎」「年1回だけでなく集まれるところ」「色んな年代にとって便利」などでした。

ハード面としては、「気温20度切らないように整える」「外観が箱型でシンプル」「内装木質化」「断熱材」「駐車場必要」「町の自然エネルギー、再生エネルギーのポテンシャルは隣地市町村に売れるほどのポテンシャルを秘め、新庁舎が見本になって、いい町になって、人口が増える」などでした。

立地については、「基幹道路に面し、隣地市町村に近い場所」であると、継続して庁舎を活用できるのではとのことでした。

〈Cグループ 発表まとめ〉



当班の建築家、都市計画の専門家から非常にいいご意見をいただき、独自なことを考えました。

まず、人口の点から町の将来人口に合わせて庁舎を作るべきです。

次にエネルギー面について、「町内の自給自足が理想」「ペレット燃料」「町にあるもので生産し町外に売り、町はお金持ち」「冬場、パソコンの熱で暖房」「井戸水」「太陽光発電」などのご意見がありました。「庁舎が地域のお手本となって自給自足」となれば、町民はそれを学び、山奥でも町は豊かになり、働く場もでき、技術も持てま

す。高校生も将来技術を持ち頑張れます。エネルギー問題は自分のことのように考えていければと思っています。

庁舎については、「木造」「技術を持った優秀な大工」「人口減など環境に合わせた変化」などでした。

〈まとめ ファシリテーター〉

「持続可能」というテーマでは、建物の省エネ計画ということがまずあげられました。同時に、街づくりの視点、ソフト面にも配慮すべきであるとのご意見がありました。小鹿野町が末永く存続していくための視点を大切にしたいというご意見であり、庁舎建設をまちづくりの起点とするというご意見だと思います。将来の小鹿野町の変化に対応できるフレキシブルな庁舎ということも大切な視点です。

(3) 全体まとめ

今回のワークショップでは、たくさんの女性と若い人に参加して頂き、貴重な意見交換ができたと思います。

「役場庁舎に求める機能など」では、ワンストップサービス、キッズコーナー及び窓口総合コンシェルジュなどたくさんのご意見がありました。また、カフェ、レストラン、居酒屋、ギャラリーなど、町民が集まれる親しみやすい場づくり等、様々なご意見を頂きました。

「議場」については、住民が議会に参加しやすい庁舎を作って欲しいというご意見がありました。議場の空き時間を有効活用したいとのご意見でした。交流スペースやイベントスペースとして活用したいという強い要望がありました。しかし、住民が自由に参加できるような仕組みや環境づくりが必要だと思います。場を作っても、活用が促進されないことに繋がります。今回のワークショップ等をきっかけとして、住民の積極的で自由な参加が誘発されるようになったら良いと思います。

「小鹿野町らしい庁舎とは何か」というテーマは、興味深くかつ難しいテーマです。小鹿野町には、豊かな森林資源・歌舞伎・春祭り・毘沙門水・秩父ワイン等個性的なところが沢山あります。その中で小鹿野町をアピールするきっかけづくりとなるような庁舎にしたいという皆さんの意思を感じました。

「庁舎のコンパクト化」は、大切なテーマであり、人口減少を含めて、どのようにコンパクト化するかを考える必要があります。一方で、交流スペースは充実させたいというご意見もたいへん多くありました。庁舎だけで考えるのではなく、小鹿野町全体で総合的に考える必要があります。まちづくりのポイントである施設の統廃合を考える中で、小鹿野町のような非常に面積の大きな自治体では、地域の核を残しながら、まちづくりを進める必要があります。たとえば、両神という個性あるコミュニティを活かしながら、小鹿野町のまちづくりを進める必要があります。

「持続可能性」を考える中で「フレキシビリティ」という視点は、建築の作り方として、考えなくてはならないテーマです。人口減少の激しい中で、単一的に、固定的な建築に作ってしまうと、街の変化に対応できません。一方で、街の個性を考える必要も同時にあります。化石燃料を使い続けることの限界も見えている中で、省エネに繋がる「パッシブデザイン、アクティブデザイン」を活かした庁舎に作ってほしいという意見もありました。

様々な世代の貴重なご意見を今後の庁舎計画に活かして頂きたいと思います。皆さん、たいへんありがとうございました。

小鹿野町役場庁舎建設基本構想策定町民ワークショップ
ファシリテーター 大島 博明

(4) テーマ別意見のまとめ

ワークショップを通じ、参加者からいただいたテーマ別の意見まとめました。

■テーマ1: 役場庁舎に求める機能及びサービスやあったらいいと思うもの

A グループ	
分類	意見
ー	町民の誇り
エネルギー	役場に来るための交通手段
	庁舎に来る交通も役場の一部
	エネルギー対策 災害時・普段の維持費
	維持費を抑えた庁舎
ギャラリー	銀行 ATM 必要
	子供が使えるスペースを分かりやすい所にする
	利用者に対して案内役を置いたらどうか
	受付コンシェルジュ
	コミュニケーションできる場所
	用事がなくても来なくなる庁舎
	休憩、交流できるスペース
	イベント等を行う。
	レンタルサイクルがある。
	カフェ レストラン 職員の食堂兼用
	住民が集まれるスペースがあるとよいかも？(ムリに作らなくてもよい？)
	用がなくても行きやすい「何か」があるといいかも。
	楽しめる庁舎
	祭り広場、屋台・笠鉾(春祭り)
	町民ギャラリー
	若い人が関われる庁舎
議場	議場 使っていないときの平行利用
	議場を使っていないとき、町民が使えるようにというのは良いと思った。
	議場と会議室の併用
	会議室は欲しい
	議場の別利用
外観	明るい外見(ガラス張りなど)、色
	シンプルな庁舎
	外観 自慢したくなるくらいステキに
	あまりハデなものにしてほしくない。シンプルでよい。
	インスタ映えする庁舎
	入りやすい庁舎も良いが、防犯の点も大丈夫にしておくと思う。
	老人が多い為、バリアフリーやエレベーターを使用して欲しい。
	駐車場をもっと広くして欲しい。

	町の木材を使用してほしい(刈り出した後は、雑木林に！)
	庁舎に町有林の木材を使用して欲しい。
働きやすさ	どこに何があるのかわかりやすい表示があるとよい
	職員の方が働きやすい
	5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)+1S(スマイル)がある庁舎
サーバー	電算室の移設
	電算室は他に！
窓口	仕事の内容によって、課が分散していた方がよい
	町営バス、スクールバス、薬師の湯、両神荘 両神の方が良いと思う
	一か所のまとめるのもよいけど、両神とか出張所的なものも残った方が便利と思う。
	手続きや書類申請などあちこちに行くのが面倒だ(一か所でできないか)
	住民課、保健センター、教育課等々一緒になっていると嬉しい。※一回で手続きを済ませたい
	医療、福祉、介護は現状が良いと思う
	窓口業務は一か所で！(病院含む)
ー	交流スペースはいらない
	行く機会がそもそもない

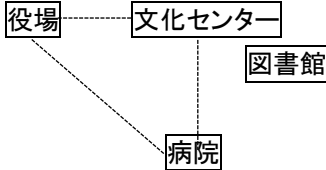
B グループ	
分類	意見
ー	課ごとに連携は、これからも必要。
機能 ハード	相談室
	気軽に相談できる場(案内場)
	居心地の良い、閉鎖感のないような気軽に行けるスペース
	プライバシーに配慮された相談スペース(1F 社会福祉)
	1Fに議会場とコワーキングスペースを作る。バリアフリー。
	ペレットボイラーによる冷暖房 林業を支えて環境資源を活かす
	交流スペース 多様化して作ったらどうか
	交流スペース有ったら良いか？有っても良いな
	必要最低限のオフィス機能
	キッズスペース ボタン式の自動ドア 子供と入れるトイレ
	子供が飽きないようなキッズスペースを作ってもらいたい。子供を連れて来ざるを得ない人も多い(見ていてもらえない)ので、少し時間がかかっても飽きないキッズスペース。
	いろいろな年代の人が集えるスペース
窓口	手続きの際、何課に行けば良いのか聞ける所があると良い。
	複合案内コンシェルジュ
	窓口は、一つあれば良い。
	出張窓口

あったらいい	子供の関係の申請など、1回の訪問で済むように担当の課を整えてほしい (例) 子供の関係のことは、専門のカウンターを作る。他の課とは分ける。
	質の高い職員がいてくれる。
	行政内連携システム作り 課が分かれても、やり取りが簡単に (例) 会議→テレビ会議 起案→テレビ会議で提案・電子決裁 別の課なので別の建物へ移動→担当課につながます
	ワンストップサービスの環境＋ノンストップサービスの環境を作ってほしい。家にいながら行政手続きができる、セキュリティと決裁サービス

C グループ	
分類	意見
保育	子供が遊べる場所
	子供に安全な自動ドア
	広くて明るいおもちゃ台、授乳室
	ちょっと子供をみてくれる
	書類など書いている時にちょっと子供を見てくれる人
	キッズスペースが欲しい。
	広い図書館
交流	コワーキングスペース
	足湯
	人が集える場所
	コンビニ
	必要なもの全て
	カフェ 人が交流される場所
	交流できるカフェ
	カフェ
	人と会って話せる
	ここに行けば皆がいる
	居酒屋
	24時間自由に使用できる会議室
	直売所(地場産など)
	ATM
	フードバンク
ソフト面	出張サービスの強化
	カーシェア置き場
	バスネットワーク
	おたすけ隊
ハード面	総合案内所が欲しい。
	木の温もり 建物
	ユニバーサルデザイン

	フリースペース
	役場の役割変わる
	ICT 物はなくなる
	一括
	ホール(多目的に使える)
	小鹿野の魅力を PR
	観光 PR センター
文化	移住したいと思える
	伝統文化

■テーマ2: 公共施設の中心である役場に複合化・集約化すべきもの

A グループ	
分類	意見
必要あるのか？	近い施設の移動にレンタサイクルを利用したらどうか
	行政と町民の生活の集約化
	集約するメリットと分散化するメリットを考慮する
	移動庁舎
	集約する必要がある？
	車を移動せずとも、歩いて移動できるようにしたら？ 
窓口	仕事の内容によって、課が分散していた方が良い
	町営バス、スクールバス、薬師の湯、両神荘 両神の方が良いと思う
	一か所にまとめるのもよいけど、両神とか出張所的なものも残った方が便利と思う。
	手続きや書類申請などあちこちに行くのが面倒だ(一か所でできないか)
	住民課、保健センター、教育課とかとか……一緒にしていると嬉しい。※一回で手続き済ませたい
	医療、福祉、介護は現状が良いと思う
	窓口業務は一か所で！(病院含む)
あったら良いもの	高校生が寄れる場所
	ATM
	住民票とかは両神でも OK にできたら。
	コンビニ
	スポーツジム
	広い駐車場
	カフェ
	ドトール欲しい

	駐車場利用の祭り広場
	ヤオヨシに止まるバスがあれば助かる
	農協のコンビニ化
	JK 課！！最先端の課を一つ
挑戦	町民が行政に関わる課

B グループ	
分類	意見
複合	娯楽施設が欲しい
	JA と組んで農産物の販売（農業する人の収入増と将来に対しての食糧確保）
集約	建設課集約する
	不動産管理（土地、建物、空家） 役場収用し売り出す
	学校教育課は本舎で良いのでは？（学校転出転入の際に不便なため）
現状もすばらしい	離れていて良い面もある。悪い面もある。
	機能の理由などによりまとめないで、今の場所でも大丈夫な場合は、現在の場所を使った方が良いのでは？
	どうして今の分散されて庁舎があるのか？合併と歴史がある。わかってやっているのは良い。町立病院と保健、医療は一緒に良い（包括支援も医療から連携、社協）
	今の場所にある理由も考えるべき。
	現在の公共施設の利用で集約しなくても良い。今は便利
	健康と福祉の町おがの スローガンとして現在の形が良い。福祉、健康、病院。
－	集約すべき課とそうでない課があるので今の良さも生かす
	集約すると不便になる課もあるのでは？

C グループ	
分類	意見
－	役場のすべて
	集約する決断
子育て・教育	子供支援センター
	ちゃんと機能した図書館、児童館
	大きくて広い図書館
	子供関係一括
	子供関連 業務で分けるのではなく「こども」の一生として考える
	いつ来ても大丈夫な広いキッズスペース
	教育委員会
町の売り	観光所
	観光情報の集約
	総合センター
ほしいもの	カラオケ、ゲーセン
	居酒屋

	カフェ
	駄菓子屋(移動式)
	職員が動いてくれる
	テナント
	足湯
	銀行
	農協 目の前でも OK
	男女出会いセンター
健康	クライミング
	いきいき館 ダイエットセンター

■テーマ3:小鹿野町らしい庁舎とは何か

A グループ	
分類	意見
1(古き良き)	祭り、自然についてアピールする場所を作る
	山やダリアをアピール
	商店街と同じような雰囲気 of 庁舎
2	祭り広場にする案には賛成
	町のために何かできる。
	小鹿野のシンボルスペースになる。する！
3	良すぎる庁舎でなくても良い
	立派すぎる建物は後々(お金を返すとか)大変なのでは？
4	新しい小鹿野らしさ 先進的な使い方
	役場でちょっとした仕事ができる場所作り
	WiFi が整っている
アピール	人のあたたかさ
	人間味あふれる
	町民が(高校生も含む)主役、交流できる
	町のいろいろな団体が手をつなぐ所が良い
	活気あふれている。
	小鹿野町らしい…がわからない
	庁舎に小鹿野らしさが必要なのか？
	庁舎に小鹿野らしさは必要か？(安全な建物であればいいのでは？)
-	庁舎もだけど☆1 日でぐるっと回れる。横瀬の「ブコーさんバス」みたいなものが必要と思う。
	観光は両神中心なので小鹿野らしさ＝観光を大事にする 両神を残す
	観光客 - 役場 - 町民 ↑ うまくつながるよう間に入る
-	各部署の横のつながりを残しつつ、必要な所に必要な規模で集約

	役場の職員さんってどう思ってるの？
--	-------------------

B グループ		
分類	意見	
建設に当たって	小鹿野町 ALL 小鹿野で建設した庁舎	
	耐震化 リノベーションされた現庁舎。古さを生かす	
	税収に見合ったコストに優れた庁舎	
見ばえ 町民皆んな 役者です	四季折々の花等 春→サクラ 夏→毘沙門水のイメージの滝 秋→ダリア 冬→節分草 玄関のガラス等に映して	
	ようばけは、ジオパークで有名なのでアピールできる庁舎です。	
	庁舎の外に植える花は、町の花にしたらいいと思います	
	ダリア、節分草、歌舞伎、祭りの見える庁舎が良いです	
	エントランスに小鹿野町の四季をイメージできるものを飾る(季節ごとに変えられる仕様。)	
	自然を庁舎から感じられるようにしたら良い	
	外観に歌舞伎を取り入れる	
	花壇にダリアを植える	
	竹あかりを飾る	
	どこかに歌舞伎カラーを使う！！	
	設備	毘沙門水を水道で飲める
		名水が飲めるコーナーを作って欲しいです(庁舎利用者、観光で来た人にも、名水を飲んでもらえるので。)
自然エネルギー	エネルギーを生かし、他へ販売できる庁舎(木、水)	
職員の使いやす く	現場で働く職員が誇りに思える庁舎 町職員(事務職)	
	町職員でワークショップを行って小鹿野のアイデアを出して作った庁舎	

C グループ	
分類	意見
産業	紙すき
	みそポテト
	小鹿野こいし
	蚕
	わらじカツ
	氷柱
	農業
歴史・文化	昔のよさを残す

	パレオパラドキシア
	宿場町
	土器
	いろいろな神様
	おひまち
	お神楽
	歌舞伎
	輪投げ大会
	地域ごとの個性
	祭り好き
自然	ようばけ(ジオパーク)
	二子山、白石山(ロッククライミング)
	両神山
	ダリア
	自然
	山
	花
	節分草
	野生動物
	バイク
	滝
	広い
	名水
	川
	小判沢
未来	竹あかり
	子育て

■テーマ4: 交流機能と議場の使い方

A グループ	
分類	意見
—	交流スペース絶対必要
議場いる	移動可能な議場、フレキシブルな使い方
	議場の兼用 30日/年間しか使用してない
	小鹿野高校の吹奏楽部が演奏。
	議員さんたちはどう考えている？ ☆町民に開放して欲しい！（フラットな議場でも大丈夫？）
	多目的に使えて町民にオープンにする（そして、レンタル料で収入UP！）
	中学・高校の部活の発表で使う（音楽、美術、パフォーマンス）。若い人が来る。
	映画・ライブ・発表会、いろいろに使えるように

	ピアノ発表会←おじいちゃん、おばあちゃんが行く。
	大規模なのは文化センターで。中小規模なのは議場で発表会？
	傍聴席を増やす
	大型スクリーンで議会を見られるカフェスペース
議場いらない	文化センターでもいいのかも
	議場を作らず別のスペースで代用する
ー	異世代が関われる
	カフェ おいしいケーキ
	出張カフェを作る。
	小さなお店の方々が一同に集まってアピールする場所を作る。野菜、食べ物とか（お店の宣伝にもなる）
	ギャラリー
	5 月 幼稚園 6 月 保育園 7 月 小学校、中学校 …とかでいつでも展示されているギャラリーを作る。
	バス待ちなどで、交流スペースやカフェで待てたら良い。（高校生）
ー	アイランドキッチン 食育・交流、職員食堂
	町を良くするためのワークショップを定期的に行う。
	なかなか家から出ない人が出たくなるイベント。（アンケートを取ってみる）
	点在する施設を活用していくソフト
	交流することは楽しいと思える→他の施設の利用
	交流している町民の楽しい姿→移住促進

B グループ	
分類	意見
スペース有効活用	↓ 色々な年代の人と交流が持てる 子供達、一般 勉強スペース（パソコン、ウォーター有） ↑ 子供は両神まで行けないので
	気軽に借りられる
	親子で見られる映画を上映
	多世代交流の場所に。子供から、お年寄りから、障害の方も利用出来る。
	未来戦略、こども会議、年 2 回。
交流機能	外部住民との交流スペース
	特産物・農産物の販売 マルシェ
議場作り	2 階ならエレベーター
	バリアフリー（入口広く）
	広く見える 明るい → ガラス張り（カーテン有）
	町民が議場を誰でも利用できる。機能 スケルトン構造（間仕切り≠耐力壁）
	円卓テーブル議場

	扇形議場
--	------

C グループ	
分類	意見
議会 ソフト面	議員と交流
	ネット配信
	土日夜にして欲しい
	そもそも流れがわからない
議会 ハード面	議場いらない
	短期なのでもったいない
	歌舞伎小屋を造り、議員が間借りする
	普段はフリースペース
	いろいろ使える
	放課後に行っていられる居場所
	高校生が使える！！
	子供議会
	もっと地域の人に興味、感心をもてるように。
交流機能ハード面	カフェ
	図書館一緒
	楽しい場所つくる
	人が集まれる 集まりやすい
	子供と地域の人が触れ合うことができる。
	居酒屋(役場の人用)
	出会いの場
	イベントスペース
	夜遅くまで使える。
	クラフトなどのワークショップ
	常設の太鼓がある(太鼓連が使える)

■テーマ5:新庁舎の持続可能性の向上について

A グループ	
分類	意見
建設面	コスト面からも町有材を希望する 木材
ハード運用	エネルギーを作る＝災害時にも必要
	ランニングコストを極力おさえる
	太陽光をつける。日中は自力でまかなえるように。
	電気代が少なくできるようにつくりにする。
	化学物質過敏症に対する配慮
	メンテナンスのなるべく簡単につくりにする。
	メンテナンスにも留意しよう。壊れてからでは遅い

ソフト	町民の意見を取り入れてもらいやすい仕組みに
	町民が笑顔でいられる
	町づくりに参加できるきっかけを作る
	これから先の人口縮小にともなう建築の仕方
	高校生＝意見を出す＝誇り
	みんなで知恵を出し合う重要性
－	庁舎を利用する町民の割合を上げていく＝参加型の建設スペース（壁面利用など） ＝年に１度は役場にいこう！
	核になって声をあげる人が欲しい
	来てもらう工夫を！
	どこに住んでいても庁舎に来られる交通手段をぜひ！！
－	総合計画とか絵に描いた餅はいらない。無駄
	議会いらない

B グループ	
分類	意見
立地	基幹道路に面していて、隣市町村に近い場所
ソフト	町民が熱く交流できる所がある。ワークショップ
	誰もが自由に出入りできて、使える場所
	自由自在な庁舎
	歌舞伎と特産、自然をセットでアピールして人口増。
	広い年代で色々な話し合いが出来る仕組みのある
	意見交換の場を増やす
	色んな年代の人が便利な設備
	人を集めることのできる場所
	上流から下流まで（倉尾、両神、町内）町民が、意見が知恵が出せる場
ハード	いかに快適で長く使えるか
	20℃未満にならない
	箱形のシンプル建物
	コンクリートを中性化
	駐車場必要だ
	プラスエネルギー 公共庁

C グループ	
分類	意見
維持	木造 直しやすい
	大工の技術を活かした建築物
	使い方が変えられる
人口	将来に合わせる 人口減
	2040 年 5,500 人（小鹿野町）

省エネルギー	電気、石油、ガソリン 小鹿野のお金流出
	自給自足
	自家用水道
	毘沙門水の水をもってくる
	ソーラーパネル ペレット 再生可能エネルギー
－	クラブヴォーバン
	イニシャル、ランニング
	紫波町(岩手県)
	ルーディツシュ村(オーストリア)
	建物のコンパクト化
	持続可能 SDGs
	省エネ パッシブデザイン
	フレキシビリティ

3 資料

ワークショップ参加者名簿

(敬称略、50 音順)

氏 名	推薦・公募	適 用	班
新 井 陽 子	公募		C
出 浦 一 輝	推薦	小鹿野高等学校生徒	C
今 井 敏 夫	推薦	西秩父商工会	B
入 澤 民 雄	推薦	小鹿野町老人クラブ連合会	A
太 田 誠	推薦	地域おこし協力隊	A
加 藤 優 子	公募		A
黒 沢 心 愛	推薦	小鹿野高等学校生徒	A
黒 沢 武	公募		B
斉 藤 まり子	推薦	小鹿野中学校 PTA	C
坂 本 陽 子	推薦	小鹿野中学校 PTA	A
坂 本 友 加	推薦	育児サークルももたろう	B
沢 田 朋 輝	推薦	地域おこし協力隊	B
鷗 田 静 江	推薦	サン・レディスおがの	A
強 矢 千 絵	推薦	小鹿野高等学校生徒	B
強 矢 福 司	推薦	小鹿野町農業委員会	C
高 橋 慎 吾	公募		C
高 橋 ちひろ	推薦	小鹿野幼稚園 PTA	B
多比良 キヨ子	推薦	小鹿野町民生委員・児童委員協議会	B
豊 田 里 佳	推薦	小鹿野中学校 PTA	A
中 野 美菜子	推薦	小鹿野小学校 PTA	B
中 山 忍	推薦	両神保育所 PTA	C
丸 山 陽 生	推薦	小鹿野町区長協議会	A
茂 木 由 伎	推薦	育児サークルももたろう	C
山 崎 和 代	推薦	小鹿野小学校 PTA	A

■ファシリテーター

ものづくり大学技能工芸学部建設学科名誉教授 大島 博明

■コーディネーター

ものづくり大学技能工芸学部建設学科 4 年高橋 諒、3 年宮野 湧太

■事務局

技監、建設課、まちづくり推進室

